

【別紙1】共通機能運用管理補助者 業務要件・運用保守要件一覧(AWS構築)

共通機能運用管理補助者 業務要件・運用保守要件一覧							
順番	分類①	分類②	分類③	概要	共通機能運用管理補助者	ネットワーク運用管理補助者	ASP事業者
1	ネットワーク及び共通機能運用管理環境構築	ユーザ管理	ユーザ管理を行うこと。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
2		権限管理	権限管理を行うこと。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
3		ネットワーク設定	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域のネットワーク設定を実施すること。 例えばAWSにおいては、VPC、Transit Gateway、セリアンク接続、PrivateLinkによるエンドポイント接続、Direct Connect Gatewayによるネットワーク接続サービスとの接続等。		○ (ネットワーク運用管理補助領域との調整・承認作業のみ)	○	—
4		セキュリティ設定	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域のセキュリティ設定(アクセス制御)を行うこと。 ※アクセス制御の詳細は、本県と協議の上確定すること。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	—
5		必須適用テンプレートの適用	必須適用テンプレートを用いて、セキュリティ/ガバナンス関連の設定を行うこと。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	—
6		監視設定	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域のメトリクス監視設定、イベント監視設定、アラーム設定をすること。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
7		通知設定	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域のアラートや稼働状況等について、必要に応じて通知を行うこと。 業務環境上に構築されるシステム毎の通知の通知対象外とする。 通知先はバメントクラウド運用管理補助者とASP事業者の両方に通知することを想定しているが、一次対応はASP事業者が担うものとし、バメントクラウド運用管理補助者は取り分け対応の支援を実施すること。 ※通知先等の詳細は、本県と協議の上確定すること。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
8		ダッシュボード設定	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域の稼働状況やアラート状況等をダッシュボードで管理すること。 ※ダッシュボードの詳細は、本県と協議の上確定すること。		—	—	○
9		証跡管理設定	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域のクラウド上の操作について、証跡管理をすること。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
10		構成管理設定	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域のリソースの変更履歴を管理すること。また、IaCと実際のリソース設定に乖離(ドリフト)があった場合の検出設定を行うこと。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
11		ベストプラクティスの確認と対応	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域のコスト最適化/パフォーマンス/セキュリティ/耐障害性/サービス制限について、ベストプラクティスに準拠するための推奨事項を確認すること。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
12		セキュリティポリシー準拠状況の確認と対応	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域のセキュリティポリシー準拠状況の確認をすること。 ダッシュボードでセキュリティスコアの達成度を定期的にチェック・検出された項目のステータス管理(卸納済み、解決済み等)		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
13		脆弱性管理設定	悪意のある操作や不正な動作を検知した場合、様々なログを調査し、潜在的なセキュリティ問題や不信なアクティビティを分析すること。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	—	○ (ASP領域のみ)
14		アクセス分析設定	リソースへのアクセスを分析し、適正をチェックすること。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
15		ログ管理	証跡管理や構成管理等のログを集約して保管すること。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	—	○ (ASP領域のみ)
16		コスト管理	コスト管理すること。		○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
17		DNS管理	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域のDNSを管理を行うこと。		—	—	○ (ASP領域のみ)
18		プライベートCA管理	本県がバメントクラウドにおける運用管理補助領域の証明書管理を行うこと。 ※LGPKIの証明書利用も含めて、本県と協議の上、方針を確定すること。		—	—	○ (ASP領域のみ)
19		共通管理サーバ	共通管理サーバ(WSSUSサーバ)を構築すること。(EC2で構築したサーバを管理するサーバ) Windows修正プログラム、Windows Defenderの定義ファイル等を管理し配信すること。 ※インターネットアクセスが必要となるため、総務省及びデジタル庁の各ガイドラインに準拠した環境を構築すること。		—	—	○ (ASP領域のみ)
20		データ連携(ストレージの構築)	ファイル連携に必要なオブジェクトストレージを構築すること		○	—	—
21		データ連携(ストレージの利用)	構築されたストレージに合わせ、ファイルのアップロード・ダウンロードを行うこと		—	—	○
20		バックアップ環境の整備	庁内または別リージョンへのバックアップ環境を検討し整備をすること。 ※バックアップ要件については、本県と協議の上確定すること。		—	—	○
21		リモート保守環境の構築	コンソール接続、及び運用管理環境への接続環境を構築すること。 ※具体的な構成については本県の承認をもって確定すること。		—	—	○
22	ASP業務環境構築	ユーザ管理	業務アカウント内のユーザ管理を行うこと。		—	—	○
23		権限管理	業務アカウント内の権限管理を行うこと。 また、制限付で権限移譲については、本県と協議し、方針を確定した上でASP事業者と調整すること。		—	—	○
24		必須適用テンプレートの適用	必須適用テンプレートを用いて、セキュリティ/ガバナンス関連の設定を行うこと。		—	—	○
25		業務システム検証環境の構築	VPC、VNETの初期設定はバメントクラウド運用管理補助者が実施する。 VPC初期設定以降の業務システム検証環境の構築は、ASP事業者が主体的に行い、バメントクラウド運用管理補助者はその支援を行う。		—	—	○
26		業務システム本番環境の構築	VPC、VNETの初期設定はバメントクラウド運用管理補助者が実施する。 VPC、VNET初期設定以降の業務システム本番環境の構築は、ASP事業者が主体的に行い、バメントクラウド運用管理補助者はその支援を行う。		—	—	○
27		業務システムテンプレートの適用	ASP事業者が業務システム用のテンプレートを適用する。 本県がバメントクラウドにおけるネットワーク運用管理補助者は必要に応じて支援する。(テンプレート適用時のエラー対応支援等)		—	—	○
28		インフラ設定監査	ASP事業者が実施したインフラに関する設定について、セキュリティ及びガバナンス上問題がないかチェックすること。		—	—	○
29		共通管理サーバの利用	本県がバメントクラウドにおけるネットワーク運用管理補助領域者が作成する「バメントクラウド利用ガイドライン」を参照し、ASP事業者が共通管理サーバを利用する設定を実施する。 本県がバメントクラウドにおけるネットワーク運用管理補助領域者は、共通管理サーバ(利用)に関する支援をすること。		—	—	○
30		バックアップ環境の整備	庁内または別リージョンへのバックアップについてASP事業者を支援すること。 ※バックアップ要件については、本県と協議の上確定すること。		—	—	○
31		リモート保守環境の構築	コンソール接続、業務システムVPCへの接続環境を構築する。 構成については、庁内ネットワーク担当、バメントクラウドネットワーク運用管理補助領域者、ASP事業者が協議し、本県の承認をもって確定すること。		—	—	○
32		ASP業務環境構築リハーサル	構築手順を確認しバメントクラウド利用ガイドラインに反映すること。また、監視等の運用管理に必要な機能が正常に動作することを確認すること。		—	—	○
33	ネットワーク接続	CSP-NSP間のネットワーク接続	CSP-NSP間のネットワーク接続環境について、NSP事業者と調整して構築すること。	○	○	○	

【別紙1】共通機能運用管理補助者 業務要件運用保守要件一覧

共通機能運用管理補助者 機能要件-運用保守要件一覧								
順番	分類①	分類②	分類③	概要	対応時間等	共通機能運用管理補助事業者	ネットワーク運用管理補助事業者	ASP事業者
1			問合せ対応	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域に関する本県からの問合せに対応すること。	・受付時間:平日9:00-18:00 ・電話によるアラート検知後、手帳に基づく一次対応 ・受付時間外での問い合わせは翌営業日の対応	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	—
2		管理	課題管理	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域に関する課題を管理すること。	—	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	—
3			定期報告	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域のインシデント対応状況を定期報告すること	—	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	—
4			死活監視	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域を統合的に監視し、アラートが出た場合に対応すること。 ※本県と協議し、確定する監視内容で運用すること。	・24時間365日ネットワーク英語監視 ・受付時間外での問い合わせは翌営業日の対応 ・監視システムによるアラート監視を実施する。	—	—	—
5			通知	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域のアラートや稼働状況等について、通知を行うこと。 また通知内容を確認し、必要に応じて対応すること。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	対応時間:平日9:00-18:00 メールによるアラート検知後、手帳に基づく一次対応を実施する。 ・受付時間外での問い合わせは翌営業日の対応	—	—	—
6			稼働状況の確認(月次レポート)	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域のシステム稼働状況やアラート状況等をダッシュボードで管理し、レポートにまとめて報告すること。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	想定対応:月次稼働状況アラートをレポートにまとめて報告。即時対応を要するアラート発生時は手帳による一次対応およびエスカレーションを実施	—	—	—
7			証跡管理	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域のクラウド上の操作について、証跡管理レポートにまとめて報告すること。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。 ※ASP事業者へ提出し出した環境における証跡管理は対象外。	・稼働状況の確認にて作成するレポートに包含	—	—	—
8			構成管理	本県がパブリッククラウド領域全体のリソース変更履歴を管理し、ダッシュボードでリソースの構成記録やコンプライアンス状況を確認し、レポートにまとめて報告すること。また、IaCと実際のリソース設定を照合(ドリフト)があった場合に検知及び修復を行うこと。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	・稼働状況の確認にて作成するレポートに包含 ・即時対応を要するアラート発生時は手帳に基づく一次対応およびエスカレーションを実施	—	—	—
9			ベストプラクティスの確認	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域のコスト最適化/パフォーマンス/セキュリティ/脆弱性/サービス品質に関する、AWSのベストプラクティスに準拠するための推奨事項を確認し、レポートにまとめて報告すること。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	・稼働状況の確認にて作成するレポートに包含 ・AWS Trusted Advisor, Azure Advisorの改善案を月次で報告	—	—	—
10			セキュリティポリシー準拠状況の確認	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域のセキュリティポリシー準拠状況を確認し、レポートにまとめて報告すること。 ・ダッシュボード上でセキュリティリスクの達成度を定期的にチェック ・検出された項目のステータス管理(即対応済み、解決済み等) ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	・稼働状況の確認にて作成するレポートに包含 ・SecurityHubで検出したコンプライアンス/ベストプラクティス違反を管理し、月次レポートとして報告	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
11			脆弱性管理	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域に対して、重要な脆弱性や不正な動作を検出した場合、種別/リスク/優先度、潜在的なセキュリティ問題や不審なアクティビティを分析すること。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	①ASPのセキュリティサービスで検出したコンプライアンス/ベストプラクティス違反に対してあらかじめの運用手順にて手動対応を行う。 ②分析が必要なアラートについて、受注者による確認を行い、対応策を提示すること	—	—	—
12			アクセス分析	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域のリソースへのアクセスを分析、適正をチェックし、レポートにまとめて報告すること。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	・稼働状況の確認にて作成するレポートに包含 ・IAM Access Analyzerなどで不適切なインタネット公開がないか分析・チェックし、月次レポートとして報告	—	—	—
13	運用	運用管理	ドキュメント管理	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助者の対応範囲(利用ガイドライン、手順書、運用フロー、運用設計書)に及変更が発生した場合は改定する。	受付時間:平日9時-18時・電話またはメールにより依頼を受け付ける。	—	—	—
14			ユーザの権限	定期的にSSOユーザの権限を実施。	対応時間:平日9:00-18:00	—	—	—
15			権限管理	SSOユーザの申請対応	対応時間:平日9:00-18:00	—	—	—
16			ログ管理	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域の証跡管理や構成管理等のログを集約して保管すること。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	—	—	—	—
17			共通管理サーバ運用管理	共通管理サーバの運用管理を実施すること。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	・対応時間:平日9:00-17:30 ・WSUS更新	—	—	○
18			バックアップ状況の確認	バックアップが正常に取得できているかチェックし、レポートにまとめて報告すること。 ※本県と協議し、確定する内容で運用すること。	・稼働状況の確認にて作成するレポートに包含	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
19			必須適用テンプレートの変更	デジタル庁からテンプレートの変更があった場合は速やかに変更されたテンプレートを採用すること	・対応時間:平日9:00-17:30	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
20			ガバナンスクラウド保守対応	CSPサービス保守として以下の作業を実施する。・デジタル庁より展開される必須テンプレートの更新。	対応時間:平日9:00-18:00・対応日時は事前調整によって平日中納品のみを可能	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
21			CSPメンテナンス時の通知対応	CSPから緊急メンテナンスが通知された場合は、関係者に周知。	対応時間:24時間365日	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
22			コスト管理	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助領域のリソースについて、使用料金をデジタル庁から提供されるダッシュボードまたはAWSが提供するマネージドサービスを用いて、収集、整理し、当市へ報告(月次)すること。	・稼働状況の確認にて作成するレポートに包含	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
23			トラフィック管理	本県がパブリッククラウドにおける運用管理補助者の対応範囲において、トラフィック収集および分析を実施し、レポートにまとめて報告すること。	対応時間:平日9:00-18:00・ネットワーク運用管理補助領域におけるトラフィック使用量を集約して報告します。	—	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	—
24			システム障害対応(切り分けと暫定対応)	ASP事業者が中心となり、システム障害の切り分けと暫定復旧対応を行う。本県がパブリッククラウド運用管理補助者は障害復旧に向けて支援(対策会議へ同席および積極的な助言、対応策のレビュー等)を行うこと。	・受付時間:平日9:00-17:30 ・電話もしくはメールによる受付 ・受付時間外での問い合わせは翌営業日の対応	○ (共通機能運用管理補助領域のみ)	○ (ネットワーク運用管理補助領域のみ)	○ (ASP領域のみ)
25			システム障害対応(恒久対応)	ASP事業者が中心となり、システム障害の恒久復旧対応を行う。本県がパブリッククラウド運用管理補助者は障害復旧に向けて支援(対策会議へ同席および積極的な助言、対応策のレビュー等)を行うこと。	—	—	—	—
26			ネットワーク障害対応(切り分けと暫定対応)	市内NW担当事業者が中心となり、ネットワーク障害の切り分けと暫定復旧対応を行う。本県がパブリッククラウド運用管理補助者は障害復旧に向けて支援(対策会議へ同席および助言等)を行うこと。	—	—	—	—
27			ネットワーク障害対応(恒久対応)	ネットワーク障害の原因に応じて、該当事業者が恒久復旧対応を行う。本県がパブリッククラウド運用管理補助者は障害復旧に向けて支援(対策会議へ同席および助言等)を行うこと。	—	—	—	—